



●令和4年8月(通算第116号)

東京では、酷暑の年にハチの発生が増える傾向にあります。都心で猛暑日の最多記録を更新した今夏は、ハチの被害が前年同期比で2倍に増えています。例年以上に注意が必要です。

発行:

公益財団法人東京しごと財団

(東京都シルバー人材センター連合)

秋口は 活発なハチ に気を付けて！

スズメバチ以外にもアシナガバチなど、比較的強い毒を持つハチは身近にいます。

除草や植木剪定、屋外清掃の作業中にハチに遭遇することは多いですが、洗剤・柔軟剤の匂いに誘われて洗濯物の周辺や室外に置いた生ごみ箱や空き缶等に潜んでいることもあり、家事援助の就業中もハチの被害は発生しています。秋口は様々な職種でハチへの注意が必要です。

○危険な時期

夏～秋口の10月頃までが、攻撃性が強く、最も危険な時期です。

	冬	春	夏	秋	冬
危険度					

○刺されないようにするためには

- ・巣（のありそうな場所）に近づかない
- ・刺激しない（声・音） 足音、物音、振動に注意
（動作） 手で払わない、走って逃げない
- ・＜服装＞肌の露出をさける（長袖・長ズボン・手袋）
黒っぽい服装・持ち物をさける（白っぽい服や帽子、バッグ）
- ・＜香り＞甘い香りのものをさける（香水・化粧品・整髪料・ジュース）

○遭遇してしまったら

- ・まずは、一旦作業の手を休めて、そっと後ずさりしてその場を離れる。
- ・離れた場所から、ハチがその場に留まっているかどうか、を確かめる。攻撃時は**カチカチ**という音を発することが多い。その際は**避難を最優先に行動する。**
- ・ハチがいつまでも飛び去らない、どんどん数が増える、などの状況になったら、**巣が近くにある証拠。**すぐに作業を取りやめてセンターに連絡を。
- ・巣を見つけて殺虫剤で駆除しようとしても、中途半端な薬剤量だと、巣から一斉に飛び出してくる。最も危険な状態になるので**！！決して行わないこと！！。**

○もし刺されてしまったら

- ・刺された場所から、静かにゆっくり後退して、遠ざかる。
- ・傷口を流水でよく洗い流し、ポイズンリムーバー（なければ指）で毒液を絞り出す。
- ・患部に抗ヒスタミン軟膏を塗る。

以上